●専攻医数ならびに診療実績等

下記 1）～ 7）により，草津総合病院内科専門研修プログラムで募集可能な内科専攻医数は1学年3名とします。
1）　草津総合病院内科後期研修医は現在3学年併せて4名で1学年1～2名の実績があります。
2）　剖検体数は2014年度2体、2015年度5体です。
表．草津総合病院診療科別診療実績

2015年（1月～12月）実績	入院患者実数（人/年）	外来延患者数（延人数/年）
消化器内科	1,1196	20,463
循環器内科	780	15,934
糖尿病・内分泌内科	230	12,267
腎臓内科	68	12,388
呼吸器科	367	7,313
神経内科	110	1,474
総合内科	697	16,043
救急科	154	2,718

3）　神経、腎臓領域の入院患者は少なめですが、両科とも同年4月より常勤専門医が赴任しました。
外来患者診療を含め、1学年3名に対し十分な症例を経験可能です。
4）　13領域の専門医が少なくとも1名以上在籍しています
（別紙プログラムの特徴URL内、P.18「草津総合病院内科専門研修施設群」参照）。
5）　1 学年3名までの専攻医であれば、専攻医2年修了時に「研修手帳（疾患群項目表）」に定められた45疾患群、
120症例以上の診療経験と29病歴要約の作成は達成可能です。
6）　専攻医2年目に研修する連携施設には、高次機能・専門病院として滋賀医大附属病院、地域基幹病院として
済生会滋賀県病院、地域医療密着型病院としてJCHO滋賀病院の、計3施設あり、専攻医のさまざま希望・将来像に対応可能です。
7）　専攻医3年修了時に「研修手帳（疾患群項目表）」に定められた少なくとも56疾患群、160症例以上の診療経験は達成可能です。